

国際教養学部 (国際教養) [英語]

A I (その1)

1-A 2-C 3-B 4-B 5-B 6-C 7-A 8-C 9-A
 10-D 11-C 12-A 13-C 14-B 15-A 16-D 17-A 18-D
 19-B 20-B

A II

21-A 22-B 23-C 24-A 25-C 26-D 27-A

A III

28-A 29-B 30-A 31-B 32-D 33-C 34-C 35-B 36-C
 37-A 38-A 39-D 40-C 41-A 42-D

A IV (その2)

49-D 50-C 51-B 52-A 53-C 54-C 55-A 56-B 57-C
 58-B 59-B 60-A 61-C 62-A 63-B 64-B 65-C 66-B
 67-B 68-B

英語 国際教養学部 (国際教養)

<全体分析>		試験時間	90分
解答形式 全問マーク式			
分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化)			
出題の特徴 文法・語法の選択、中文の空所補充、長文の空所補充・内容真偽問題、リスニング			
その他トピックス			

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
AI	文法・語法		四択の空所補充問題 20問	標準
AII	読解総合	「多言語を話すということ」 (649words)	空所補充問題、内容真偽問題、パラフレース問題、文補充問題 計7問	標準
AIII	読解総合	「アメリカのレッドワルフについて」 (266words)	中文の空所補充 15箇所	標準
AIV	聞き取り		(A) 放送された英語について適切な答えを選ぶ問題 10問 (B) 英文を聞いて、その内容に関する質問に対する答えを選ぶ問題 4題(計10問) *(A)(B)いずれも放送は一回	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」
 難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基本的な文法・語法問題を数多く演習して、関係詞や準動詞、仮定法、比較表現など頻出の文法事項をしっかり押さえておくこと。
 中文および長文の空所補充問題が毎年出題されるので、限られた時間内で英文の内容を概み取る力をつけることが必要である。
 毎年リスニングが出題されるので、リスニング力の増強が必要である。音声を聞くだけでなく、同時に発音して、音と意味を結びつける練習を繰り返すことが大切である。